



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN  
**佐土原ロータリークラブ週報**



Bhichai Rattakul  
 RI President, 2002-03

**慈愛の種を  
 播きましょう**

2002-2003年度 国際ロータリーのテーマ

**新世代活動月間**

第758回 平成14年 9月25日(水)

**〔本日のプログラム〕**

1. 点 鐘
2. ロータリーソング  
「それでこそローター」
3. 「四つのテスト」唱和
4. 食 事
5. 会 長 の 時 間
6. 幹 事 報 告
7. 委 員 会 報 告

**【職場訪問】**

**次 回 予 告**

★10月 2日(水)

会員卓話

村岡 博 君

10月セレモニー

理事・役員会

★10月 9日(水)

フォーラム

(職業奉仕月間にあたって)

**佐土原ロータリークラブ**

例会日	毎週水曜日 (12:30~13:30)	会 長	宮原 建樹
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	林 厚雄
事務局	宮崎郡佐土原町大字下那珂3887-17	幹 事	中武 幹雄
	☎880-0212	会 計	佐藤 高元
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会報委員長	池田 仁志

## 第 7 5 7 回例会記録

(2002. 9. 11)

### ☆会長の時間

会長 宮原建樹君

本日は第757回の例会です。

ビジターをお迎えしております。西都RCの小畑正照君です。ようこそお出で頂きました。有り難うございます。

先週のガバナー公式訪問、皆様大変お疲れさまでございました。入会2年未満の方は午前中からの出席で本当にご苦労さまでございました。

何とか今年度の大きな行事の一つが無事終了しまして、ホッとしているところです。ご協力有り難うございました。

早速ガバナーよりお礼のハガキが届いておりますので、ご披露致します。

拝啓

午前中は晴れて、午後は雨という異様な天気でしたが、皆様方の熱心な取り組みの御蔭で楽しい雰囲気の中で、有意義な成果を収めることができました。この度の公式訪問に当たっては事前の懇談会からクラブ協議会に至るまで、細やかなお心づかいと真摯な御準備のお蔭ですべてが順調に進行しました。心から御礼を申し上げます。

新年度もスタートしてようやく二ヵ月、これからが踏んばり所です。皆様御健祥にてご活躍下さい。

敬具

9月6日 海江田 卓

本日はアメリカで同時多発テロ事件が発生してちょうど1年という日であります。信じがたいような映像に吃驚し、テレビに釘づけになってから1年が経過しましたが、普通ならこれほどの時間が過ぎれば忘れ去られるものですが、あの悪夢の様な事件は今でも鮮明に覚えております。世界貿易センタービルに突っ込んだ2機の旅客機、そしてペンタゴンに突っ込んだ旅客機、もう1機は森の中、次から次へと映し出される映像に、固唾を飲んで見ていました。更に世界貿易センタービルの崩壊、本当に信じられないものでした。

先週の土曜日の朝日新聞に「癒いの場傷いえる」と写真入りで世界貿易センタービルに隣接して崩壊した巨大なガラス天井の、ウインターガーデンの再建作業が完了し、公開されたと載っております。崩壊した現場一帯の建物の中では、再建第1号とのこと。が建物の傷は治っても、遺族の方々や周りの方々の傷は何年経っても癒えるものではないと思います。今アメリカがイラクに対して大量破壊兵器の査察を受入れさせようとしており、完全査察を受入れなければ攻撃する、と言っております。同時多発テロの首謀者、ビン・ラディンの後押しをしていると言われるイラク、又テロ実行者の大半はサウジアラビアの若者で、イスラム社会の人間ばかりであり、全て産油国で、その辺から原油を輸入し、商売をしている私としては非常に複雑な気持ちであります。

本日はイスラム教の隣、ヒンズー教の国、インドから県の農業試験場に研修に来られているロータリアンの仲間、シャム・ジョーダン君が2回目のメークに見

えております。後ほど、梶田会員から、紹介して頂き、彼の国のロータリーのお話等、聞かせて頂けると思います。

梶田会員と言えば、10日程前の宮日新聞に県農業試験場に20年前、佐土原ナスの原種の保存を働きかけ、その保存の種で、新名爪の農業者、外山さんが佐土原ナスの収穫に成功された旨の記事が載っておりました。掲載の写真を見ますとバランスの取れた、非常にスマートな茄子の様でした。会員の名前をマスコミ等で見ますと本当に嬉しいですね。

今月は新世代活動月間です。藤堂委員長に時間を取っておりましたが、ビジターのシャム・ジョーダン君のお話がありますので、次回に回します。各委員会の月間が必ず参ります。プログラム予定の通りに進みますので、プログラムを良くご覧になって下さい。

来週(18日)は特別休会です。お間違えない様お願い致します。

## ☆幹事報告

幹事 中武 幹雄君

### 1. 例会変更通知

①9月27日(金)は観月家族会の為、

時間 18:00~

場所 「クナ・ドリーバ」 に変更

宮崎西 RC

②9月30日(月)は観月家族会の為、

時間 19:00~

場所 鶴巴ムビチホテル に変更

### 2. ガバナーエレクト事務所開設のご案内

ガバナーエレクト 吉松 成人君

所在地 都城市蔵原町5街区29号

TEL 0986-46-1350

FAX 0986-46-1332

所属ロータリー 都城中央RC

〒885-0051

### 3. 職場訪問のお知らせ

次週は特別休会になりますが、翌々週の例会は「梶田種苗」にて職場訪問です。現場に集合して下さい。

## ☆出席報告

委員長 村岡 博君

会 員 数	27名
例 会 出 席 者	22名
出 席 率	81%
マークアップ者数	0名
修正出席率	81%
欠 席 者 名	神宮寺, 宮本, 近藤, 太田, 岩下

## ☆新世代委員会

委員長 藤堂 孝一君

ライラ(青少年指導者育成研修会)が10月5日(土)~6日(日)に開催されますが、今年度、当クラブは研修生はありませんでしたが、ロータリアン3名(委員長、副委員長、会長)は是非出席したいと思います。

🎵🎵🎵🎵🎵🎵🎵  
9月のセレモニー

会員誕生祝い

藤堂 孝一君

夫人誕生祝い

岩切 純子さん

以上の皆様おめでとうございます。

🎵🎵🎵🎵🎵🎵🎵

## ☆ご紹介

梶 田 與之助 君

以前お見えになった時も紹介したと思いますが…。

本日ビジターとしてお見えのシャム・ジョーダン君のプロフィールを簡単に紹介致します。

彼は1970年生まれで現在32歳です。1998年、花の勉強の為、来県され、9ヶ月間、宮崎県総合農業試験場で研修されました。その後、本年1月、県内の3箇所で開催されるため、再来日され、更に6月から10月末日まで農業試験場で、野菜の研修、特にトマトとイチゴの栽培に日夜頑張っておられます。

彼がロータリーアンになったきっかけは、2000年5月、GSEチームメンバーとして米国カリフォルニア、ネバダで研修された際、ロータリーの精神に魅せられ、同年12月にインドの東北、ヒマラヤの近くにある、第3240地区、カリンボンロータリークラブに入会されております。メンバーは40名、創立は1994年で現在8年の若いクラブだそうです。

今年の5月、彼にハッピーな事がありました。日本人の女性、めぐみさんという方と結婚されて、同年の6月30日、宮崎市のホテル・メリージュで披露宴をされ、私も招待を受けまして、出席致しました。

今回はスライドで地元の紹介、及び彼自身の仕事の話等をして頂きたいと思っております。

それとカリンボンロータリークラブの会員から、是非こちらでホームステイをしたいという要請が有るようです。

将来、友好クラブを結んだらどうかと思っておりますが、そのためにも受入れを是非したいと思っておりますが、如何でしょうか。 人員としては2名、滞在期間は1～2週間位だそうです。

詳しいことは本人からお伺いしたいと思います。

## ☆グリーンハウス・プロジェクト

について シャム・ジョーダン君

皆様今日は。今日はこのプレゼンテーションを日本語で解説しますが、間違いがあるかも知れませんが、お許し下さい。

私は4年前、此処で研修し、今からお話するグリーンハウスプロジェクトを国に帰り、始めました。最初から現在までの仕事の紹介を致します。

カリンボンはインドの東北で、海拔1,600キロに位置します。夏はこちらほど暑くなく、冬はそんなに寒くない所で、雪もありませんから、植物にはちょうど適した所ではないかと思っております。

グリーンハウス・プロジェクトは宮崎のボランティアセンターの杉本さんが園芸科を作られ、1999年4月に開始しました。(スライドにて花(スイトピー)の栽培、(化学肥料を使わない堆肥等を使った)の紹介)(学校での勉強が嫌いな子供達に手を使った農業のノウハウを教えている)(都城の農業大学の方やイギリスの方がボランティアで参加の様子)(此処で栽培した物を販売してそのお金でプロジェクトを運営していること)(カリンボンの珍花も紹介)(最近このプロジェクトがひ日に日に有名になり、近くの高校生達が見学を訪れ、観光する人も増えた事)等の紹介。

現在は11～12歳位の子供達に種の蒔き方、定植とか色々教えております。インドは土地は沢山ありますが、その土地を活かす農業の技術がまだありませんので、そこを、そしてこれからのインドの将来を担う子供達に農業の良い技術を教えて行きたいと思っております。

拙い日本語で申しわけありませんでした。